龍谷理工ジャーナル

龍谷理工ジャーナル

No. 56
VOL.21-1
2009

目　　次

解　説

地球時代の文明学ーガラクタが語る生活誌……杉　田　繁　治……1
宇宙基地開発の長い夢……岩　本　太　郎……9
盛土裸地における植物群落の二次遷移について　……桑　垣　　瑞……18
——琵琶湖博物館・遷移実験区調査——
紙容器の数理（2）……大　西　俊　弘……26
——1 枚の紙からテトラパックを作る——
映像の言語と文法（9）　……熊　野　雅　仁……33
——語順・文法カテゴリーの格と古典的デクパージュの
方向一致則・構文上の事態推定効率——
コントラクトブリッジの魅力……前　田　尚　志……48

随　想

スイス留学報告……曽　我　麻佐子……57
——VRLab での研究生活とローザンヌのダンスアート——

学生の広場

大学入学から今までを振り返って……前　川　吉　孝……64
本音で語る自分の歴史……渡　邊　優　一……66
ACM/ICPC に参加して　……盛　　竜　太……68
バイオテクノロジーと滋賀医科大学での研究……坂　上　倫　久……77
ディスカッションの重要性……中　村　哲　士……83
「まいど 1 号」搭載宇宙ブームの開発と
種子島宇宙センターでの最終確認作業……酒　井　　健……85
垣　内　　喝
園　田　裕　介

目　　次

特集　学生の研究活動報告－国内学会大会・国際会議参加記９

E-MRS 2008 Spring Meeting に参加して …… 森　本　篤　史…… 95

EMRS 2008 Spring Meeting に参加して …… 上　杉　剛　志…… 99

IEEE WCCI 2008 に参加して…… 山　川　一　正…… 102

Acoustics'08 に参加して …… 森　田　慎　也…… 106

国際会議 Acoustics'08 に参加して …… 安　井　希　子…… 109

The 42nd IUPAC World Polymer Congress に参加して…… 西　村　拓　也…… 113

Macro 2008 in Taipei …… 木　村　祐　輝…… 117

第 42 回　MACRO 2008, Taipei に参加して …… 藤　原　愛　美…… 119

The 42nd IUPAC World Polymer Congress に参加して …… 大　熨　昭　夫…… 123

The 42nd IUPAC World Polymer Congress に参加して…… 後　藤　直　子…… 125

国際学会 ICSV 15 での論文発表 …… 酒　井　　健…… 128

2008 年 Fπ8 でのポスター発表…… 松　澤　祐　至…… 133

Fπ8（the 8th International Symposium on Functional π-Electron Systems）
でのポスター発表…… 茶　木　友里恵…… 137

2008 年 ICMPC 10 に参加して …… 村　上　優　樹…… 140

2 度目の国際会議を終えて …… 此　木　康　至…… 143

2008 China-Japan Joint Microwave Conference への参加 …… 木　田　聖　治…… 147

ベルリンで開催された ICTMC-16 に参加して …… 中　村　哲　士…… 151

RUBeC 体験記 …… 近　藤　貴　行…… 155

RUBeC 演習を履修して …… 織　田　あさ美…… 159

RuBeC 演習について …… 金　田　有　理…… 162

RUBeC 演習に参加して（2008）…… 川　口　佑　介…… 166

目　　次

RUBeC 演習に参加して …… 北　川　　悟…… 170
RUBeC 演習に参加して …… 後　藤　直　子…… 174
RUBeC 演習を受講して …… 齋　藤　泰　彦…… 178
RUBeC 演習に参加して …… 佐　伯　和　軌…… 181
RUBeC 演習 …… 竹　原　雅　俊…… 185
RUBeC 演習 …… 中　川　裕　友…… 188
RUBeC 演習に参加して …… 長谷川　俊　介…… 192
RUBeC 演習に参加して …… 深　田　正　紀…… 195
RUBeC 演習に参加して …… 三　木　順　平…… 198
RUBeC 演習に参加して …… 山　崎　夏　輝…… 202
RUBeC 演習に参加して …… 久　保　絢　矢…… 207
RUBeC 演習を終えて …… 倉　本　　卓…… 210
RUBeC 演習に参加して …… 富　永　剛　史…… 214
RUBeC 演習に参加して …… 西　村　拓　也…… 219
RUBeC 演習に参加して …… 藤　原　愛　美…… 223
RUBeC 演習に参加して …… 古　畑　　哲…… 227
RUBeC 演習に参加して …… 向　井　祐　美…… 231
RUBeC 演習 …… 安　友　久　貴…… 236
電子情報通信学会ソフトウェアインタプライズモデリング
　研究会に参加して …… 片　岡　慶　二…… 241
UML シーケンス図におけるモデル検証方法 …… 髙　谷　彰　俊…… 245
電子情報通信学会ソフトウェアインタプライズモデリング
　研究会での発表 …… 岡　田　　祥…… 248
粉体粉末冶金協会講演　平成 20 年度春季大会に参加して …… 佐　伯　和　軌…… 251

目　　次

ROBOMEC 2008 参加報告 …… 山　田　翔　希…… 255

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2008 に参加して …… 鍋　島　広　昭…… 258

ROBOMEC 2008 …… 中　谷　勇　起…… 260

ロボティスク・メカトロニクス講演会 2008 に参加して …… 白　山　幸　治…… 262

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2008 を終えて …… 河　合　光　太…… 265

ROBOMEC 2008 in Big Had …… 高　岡　翔太郎…… 267

ROBOMEC 2008 in NAGANO …… 堀　川　和　哉…… 269

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2008 を終えて …… 永　野　顕　法…… 271

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2008 に参加して …… 福　井　貴　哉…… 274

ROBOMEC'08 in NAGANO を経験して …… 森　　陽　平…… 276

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2008 を経験して …… 野　村　玲　子…… 278

日本機械学会主催ロボティクス・メカトロニクス
講演会 2008 参加報告 …… 高　原　　顕…… 280

ROBOMEC 2008 in NAGANO に参加して …… 中　根　健　太…… 282

日本文化財科学会第 25 回大会を通して …… 清　水　俊　貴…… 285

次世代の太陽光発電システムシンポジウムに参加して…… 舩　橋　和　也…… 288

第 5 回次世代の太陽光発電システムシンポジウムに参加して… 久　保　絢　矢…… 291

AM-FPD '08 に参加して …… 鈴　木　大　亮…… 293

AM-FPD '08 に参加して …… 松　木　邦　晃…… 296

言語理解とコミュニケーション研究会に参加して…… 日　高　宏　紀…… 298

第 50 回構造強度に関する講演会に参加して …… 垣　内　　喝…… 300

日本混相流学会　年会講演会 2008 に参加して …… 杉　本　泰　威…… 303

日本混相流学会年会講演会 2008 を経験して …… 杉　浦　秀　明…… 305

目　　次

Joint Symposium for Advanced System Software 2008
　　に参加して……岸　本　和　哉…… 308
FIT 2008 第 7 回情報科学技術フォーラムに参加して　……瀬　戸　秀　隆…… 311
FIT 2008 第 7 回情報科学技術フォーラムに参加して　……齋　藤　　登…… 314
FIT 2008　第 7 回情報科学技術フォーラムに参加して……井　上　貴　照…… 316
第 7 回情報科学技術フォーラムに参加して……東　野　正　行…… 319
第 7 回情報科学技術フォーラムに参加して……瀧　上　晋太郎…… 321
FIT 2008 第 7 回情報科学技術フォーラムに参加して　……今　井　康　平…… 324
FIT 2008 に参加して　……伊　藤　政　志…… 326
FIT 2008 第 7 回情報科学技術フォーラム　……永　井　淑　郎…… 328
粘土科学討論会に参加して……中　田　章　仁…… 330
粘土科学討論会における発表……中　森　　寛…… 333
音楽音響研究会および日本音響学会 2008 年秋季研究発表会
　　に参加して……岩　見　直　樹…… 335
N. L. P. M Summer Seminar に参加して……川　合　秀　明…… 338
土木学会　平成 20 年度全国大会に参加して　……島　田　知　子…… 342
土木学会に参加して……滝　　さやか…… 344
日本音響学会で口頭発表を行って……山　梶　雄一郎…… 346
日本音響学会 2008 年秋季研究発表会に参加して　……月　本　雅　亮…… 350
2008 年光化学討論会でのポスター発表　……中　川　裕　友…… 353
光化学討論会（2008）に参加して　……向　井　祐　美…… 355
2008 年光化学討論会　……竹　原　雅　俊…… 358
2008 年度大合同ゼミに参加して　……吉　田　勝　彦…… 361
大合同ゼミに参加して……田　村　崇　行…… 364

目　　次

2008 年度大合同ゼミに参加して …… 堀　華深…… 366

大合同ゼミに参加して …… 上田　みなみ…… 368

大合同ゼミを終えて　佐賀 …… 松本　貴光…… 370

2008 年度大合同ゼミに参加して …… 安達　雅哉…… 372

大合同ゼミに参加して …… 山本　峻大…… 374
——音楽音響合同ゼミ——

2008 年度大合同ゼミに参加して in 佐賀にて …… 織田　将史…… 376

大合同ゼミに参加して in 佐賀 …… 安部　裕造…… 379

第 21 回　日本セラミックス協会
秋季シンポジウムでのポスター発表 …… 川上　敬之…… 382

第 3 回バイオ関連化学合同シンポジウムに参加して …… 齋藤　泰彦…… 385

第 58 回錯体化学討論会に参加して …… 吉水　真吾…… 387

第 58 回錯体化学討論会に参加して …… 北川　悟…… 389

第 58 回錯体化学討論会に参加して …… 森下　賢一…… 392

第 58 回錯体化学討論会に参加して …… 藤井　慎也…… 394

錯体化学討論会に参加して …… 朝井　伴光…… 396

第 58 回　錯体化学討論会「最後の学会」 …… 野崎　藍子…… 398

第 58 回錯体討論会に参加して …… 安友　久貴…… 401

第 58 回　錯体化学討論会に参加して …… 辻川　一輝…… 404

第 57 回　高分子討論会に参加して …… 高岡　奈奈美…… 407

日本音響学会 2008 年春季研究発表会に参加して …… 一瀬　護…… 410

音楽音響研究会及び日本音響学会に参加して …… 数森　康弘…… 413

日本陸水学会に参加して …… 上野　加寿紀…… 415

ソーラーカーレース 2008 …… 山本　友也…… 417
藤原　啓太郎

理 工 学 会 会 則

制　　定　1988 年12月 1 日
一部改正　1994 年 7 月 6 日
一部改正　1996 年 5 月 8 日
一部改正　2007 年 6 月 6 日

（名称，事務所）
第 1 条　本会は，龍谷大学理工学会と称し，事務所を龍谷大学瀬田学舎内に置く．

（目　的）
第 2 条　本会は，会員相互の学術研究と技術開発に関する情報交流及びコミュニケーションの推進をはかることを目的とする．

（事　業）
第 3 条　本会は，前条の目的を達成するために，次の事業を行う．
⑴　研究会，コロキュウムの開催
⑵　機関誌の出版
⑶　学術講演会，シンポジュウム等の開催
⑷　その他目的達成に必要なこと

（会の構成）
第 4 条　本会は，次の者を以て組織する．
⑴　普通会員　龍谷大学理工学部及び科学技術共同研究センターに所属する専任の教育職員並びに本会の趣旨に賛同する龍谷大学の専任教職員
⑵　学生会員　龍谷大学理工学部及び理工学研究科の学籍を有する学生
⑶　賛助会員　前 2 号以外の者で，第 5 条に定める総会で入会が承認された者

（総　会）
第 5 条　本会の重要な事項を決定するのに，総会を置く．
2　次の事項は，総会において議決する．
⑴　事業計画に関すること
⑵　予算・決算に関すること
⑶　役員の選任に関すること
⑷　会員の入会・退会に関すること
⑸　その他重要な事項
3　総会は，普通会員全員で構成する．
4　総会は，会長が招集し，会長はその議長となる．
5　総会は，構成員の過半数の出席がなければ会議を開き議決することはできない．ただし，構成員が他の構成員に委任した場合は，これを出席と見做して処理することができる．

（役　員）
第 6 条　本会に，次の役員を置く．
⑴　会　　長　　1 名
⑵　副　会　長　　1 名
⑶　庶 務 委 員　　若干名
⑷　編 集 委 員　　若干名
⑸　会 計 委 員　　若干名
⑹　会計監査委員　　若干名
2　各役員の任期は 1 年とし，毎年 4 月に交替するものとする．ただし，再任を妨げない．

（役員の選任）
第 7 条　会長は，龍谷大学理工学部長があたるものとする．
2　会長以外の他の役員は，総会の承認を得て会長が任命する．

（役員の職務）
第 8 条　会長は，本会の業務を統括し，本会を代表する．
2　副会長は，会長の職務を補佐し，会長事故ある時はその職務を代理する．
3　庶務委員は，会長の命を受けて企画・渉外・組織管理等本会の庶務的事項を処理する．
4　編集委員は，会長の命を受けて機関誌の発行等出版に関する事務を処理する．
5　会計委員は，会長の命を受けて本会の会計を処理する．
6　会計監査委員は，本会の会計監査を行う．

（役員会）
第 9 条　本会の日常的事務及び総会の委任事項を処理するため，役員会を置く．
2　役員会は，役員全員により構成する．
3　役員会は，会長が主宰する．

（会　計）
第10条　本会の経費は，入会金，年会費，龍谷大学からの助成金，事業収入及び寄付金を以て充てる．

（入会費）
第11条　本会に入会を希望する者は，入会費を納入しなければならない．
2　入会費の額は，2 千円とする．

（年会費）
第12条　会員は年会費を納入しなければならない．
2　学生の年会費は年額 3 千円とし，毎年度納入するものとする．
3　教員の年会費は年額 4 千円とし，毎年度納入するものとする．

（会費等の免除）
第13条　総会は，特別な事情があると認める者に対しては，入会費又は年会費のいずれか，一方若しくは両方の納入を免除することができる．

（改　廃）
第14条　この会則の改正又は廃止は，総会において決定する．

付　　則
この会則は，1989 年 4 月 11 日から施行する．

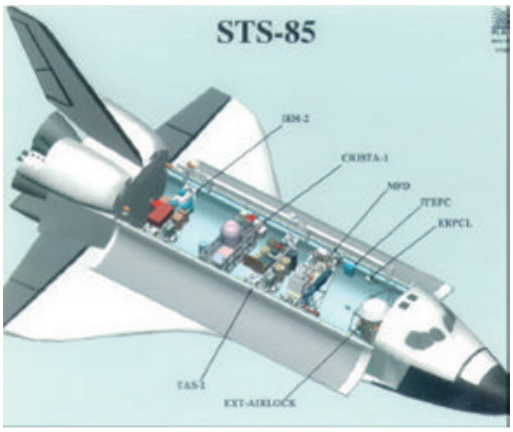
付　　則（第 4 条，第 6 条，第 8 条の一部改正）
この会則は，1994 年 4 月 1 日から施行する．

付　　則（第 12 条の一部改正）
この会則は，1997 年 4 月 1 日から施行する．

付　　則（第 12 条の一部改正）
この会則は，2007 年 4 月 1 日から施行する．

宇宙基地開発の長い夢

（解説　岩本太郎，本文 9 ページより）



MFD の構想
（JAXA 提供）

盛土裸地における植物群落の二次遷移について

（解説　桑垣　瑞，本文 18 ページより）

調査地風景　2002 年 4 月

調査地風景　2007 年 5 月

紙容器の数理（2）

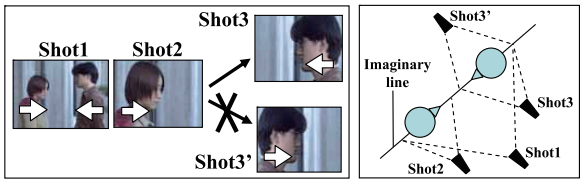
（解説　大西俊弘，本文 26 ページより）

テトラパック

断面が八角形の新型容器

映像の言語と文法（9）

（解説　熊野雅仁，本文 33 ページより）

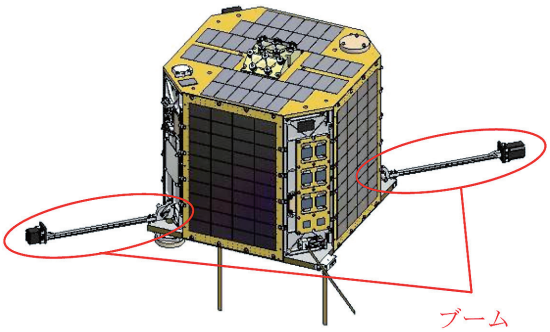


古典的デクパージュの方向一致則

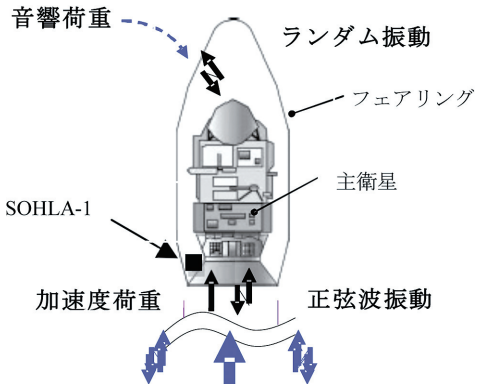
ショットの順序入れ替えと空間的関係

「まいど 1 号」搭載宇宙ブームの開発と種子島宇宙センターでの最終確認作業

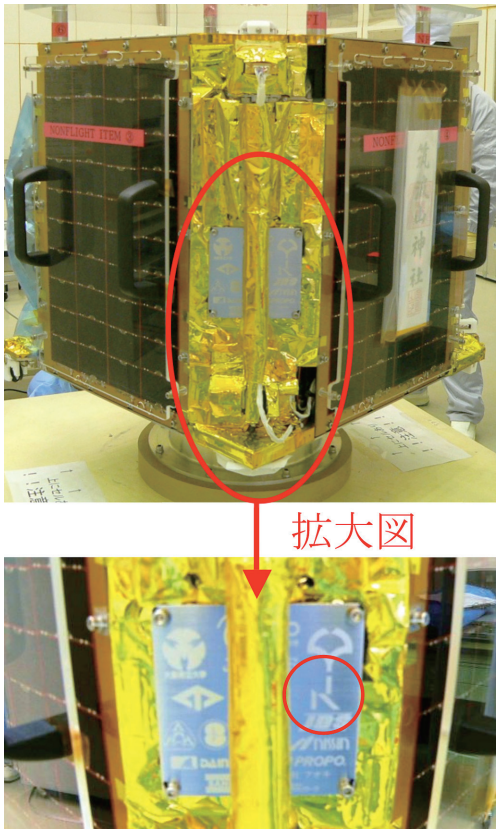
（学生の広場　酒井　健，垣内　喝，園田裕介，本文 85 ページより）



ブーム展開状態の SOHLA-1



打ち上げ環境のイメージ図



記念プレートと龍谷大学のロゴ

編集後記

卒業式と学位授与式が 3 月 13 日にやってきます．毎年のことと言いながら今年は今年で学生が卒業するために，学生とともに新たな困難を乗り越えてきました．しかし，この時に教員として彼らに“十分勉強したので，これをもって社会で活躍してください”と言いたい．決して“社会は厳しいから頑張りなさい”と言いたくない．それではそれだけのことを彼らに授けたであろうかと自問自答する一番苦しい日である．ただ常に勉強するという習慣を持ってもらえたのではないかと思う．それは真の人生の勉強はこれから長い一生の間続くでしょうが，これを自分で克服し努力する「克己心」を持ち続け，成長することがみんなに期待できるし，期待します．おめでとうございます．

（編集責任者　後藤　義昭）

龍谷理工ジャーナル　VOL. 21–1　2009

2009 年 3 月 13 日発行

編集・発行　龍谷大学理工学会

編集委員長　後　藤　義　昭

編 集 委 員　数理情報学科 …… 大　西　俊　弘
電子情報学科 …… 近　藤　英　彦
機械システム工学科 … 西　原　弘　訓
物質化学科 …… 松　中　岩　男
情報メディア学科 …… 渡　邉　靖　彦
環境ソリューション工学科 … 越　川　博　元

〒520–2194　大津市瀬田大江町横谷 1–5
TEL　077－543－5111㈹

印　　刷　協　和　印　刷　㈱

〒615–0052　京都市右京区西院清水町 13
TEL　075－312－4010